



# 臨時 ほけんだより

## はやり目、りんご病について

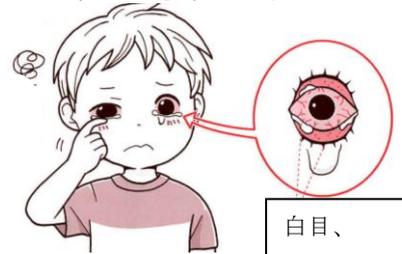
令和6年  
11月22日

辻小では流行性角結膜炎（はやり目）、伝染性紅斑（りんご病）の感染が流行しています。具合の悪いお子さんはこれらに感染している可能性もあります。疑わしい場合は、早めに受診をお願いします。診断名がついた場合は、速やかに学校までご連絡ください。

### ☆流行性角結膜炎（はやり目）

- ・アデノウイルス感染 1～2週間の潜伏期間
- ・感染力が非常に強く、はやり目の人が目を触った手で物を触る、タオルなどを介して感染する。
- ・症状：さらさらした目やに、目の充血など

感染症のためリンパ腺が腫れて、耳の前あたりが痛くなることもある。  
症状が重い場合、角膜に傷がつくと目がしょぼしょぼしたり、  
目が眩しい、また瞼の裏に炎症の白い膜ができたりすることもある。



白目、  
結膜の充血

★家族内でのタオルは別々に、手洗いはこまめにすること。抗菌薬やステロイドの点眼薬を処方されることもある。

★「学校保健安全法 第三種」に指定されている学校感染症です。明確な出席停止期間はありませんが、治療に7日～3週間程度かかります。出席停止期間は医師の指示に従ってください。

### 受診の目安

- ・目の充血
- ・まぶたの腫れ
- ・朝目やにがべっとり

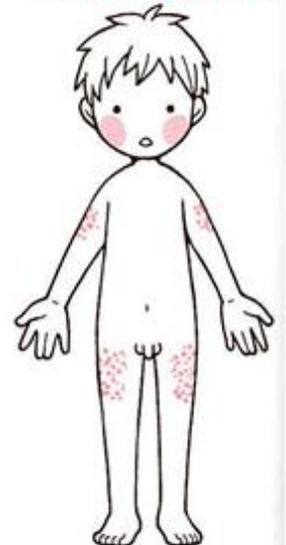
### ☆伝染性紅斑（りんご病）

- ・りんごの様な赤い頬になるため「りんご病」と呼ばれる。
- ・ヒトパルボウイルス感染 4～21日の潜伏期間。
- ・腕や太ももに赤いレースの様な網目模様の発疹が広がる。1週間ほどで消失するが、1カ月近く続くことも。
- ・発熱は 37.5℃程度の微熱、咳や頭痛、のどの痛み、関節痛を訴えることもある。
- ・特に治療法はなし。（かゆみに対し、内服薬や塗り薬の処方をされること有。）

★発症した時には他者への感染力は失われているため、全身状態がよければ登校は可。

★妊婦が発症すると、流産や胎児水腫を起こすことがあるため要注意。

発疹がみられるところ



### 受診の目安

- ・かゆみがある
- ・関節痛などが強いとき

引用文献：少年写真新聞社  
園・学校でみられる子どもの病気百科